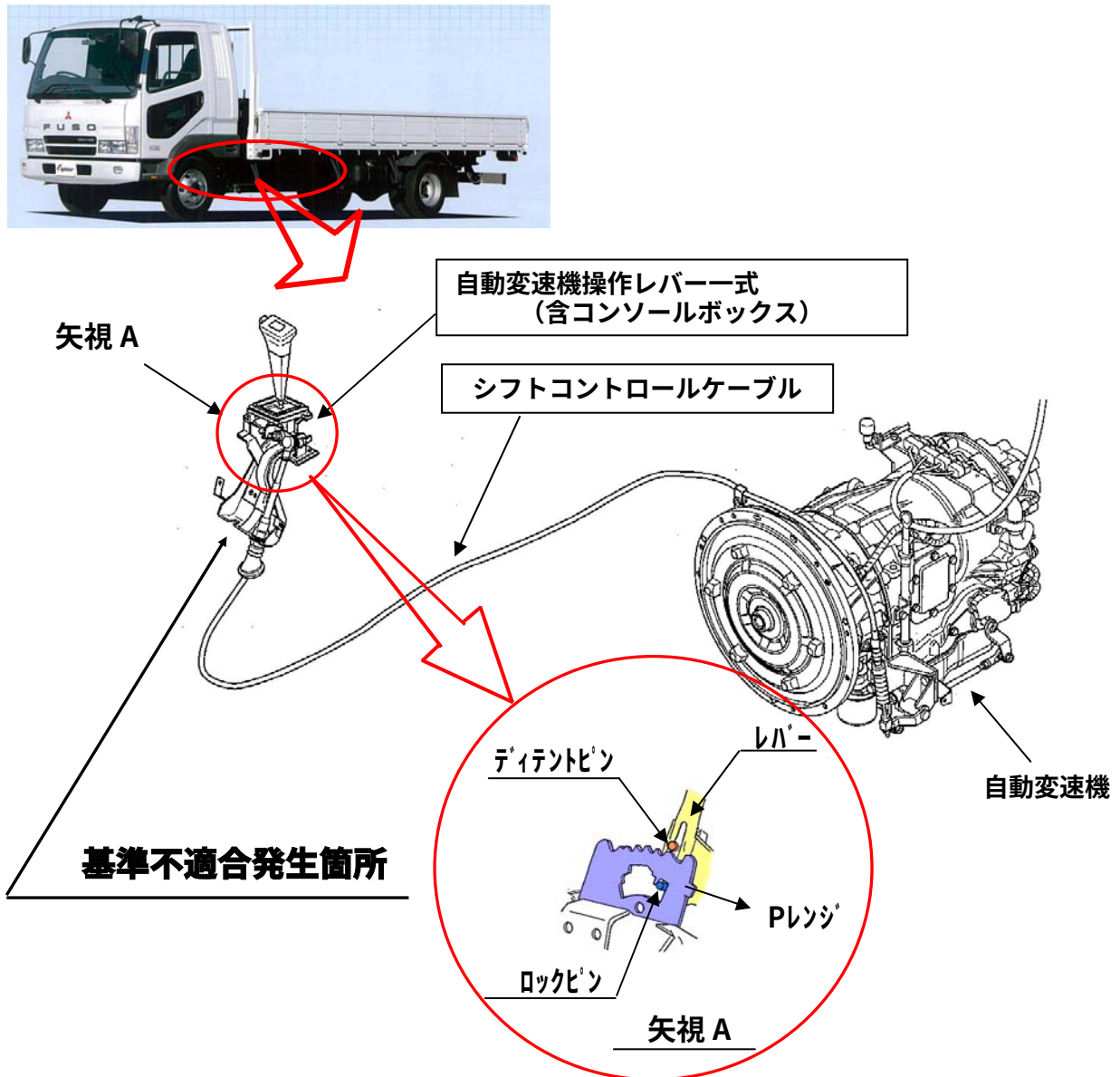


改善箇所説明図



自動変速機操作レバーの加工が不適切なため、当該レバーとディテントピンまたはロックピンにガタ・たわみ等が発生しているものがある。そのため、シフト操作を行った際に操作レバーがPレンジ位置にあるにもかかわらず、自動変速機本体側はRレンジのままとなっており、最悪の場合、車両が後退するおそれがある。

改善措置の内容

全車両、自動変速機操作レバー式及びシフトコントロールケーブルを対策品に交換する。
尚、対策品の供給に時間を要するため、当面の措置としてPレンジ操作時の注意事項を記載したコーションプレートを配布し、ユーザの注意喚起を図る。

注：□は交換部品を示す。

識別：作業完了車には、助手席リヤドアピラーストラライカ付近に「MT-26」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。